

# 栃木県中学校春季体育大会 バドミントン大会

## 【感染防止対策】

### 1. 点数制限

すべての試合を、15ポイント3ゲームマッチで行う。

### 2. 入場制限

出場選手・引率者のみの入場とする。応援生徒・保護者の入場は認めない。

参加にあたっては別紙「栃木県中学校体育連盟主催事業 保護者 同意書」を事前に学校長に提出するものとする。

### 3 新型コロナウイルス感染防止対策

#### (1) 選手、引率者の健康状態確認

各学校に集合し（直接現地集合にしない）顧問が当日の健康状態を確認、体調不良者は帰宅させる。また、家族に発熱等の体調不良者がいる場合も大会への参加を控えさせる。

顧問は各学校で使用している体調チェック表等を用いて、参加選手の体調を確認する。その上で、「学校同行者体調記録表」に体温や体調を記入し、入場時に2部提出する。

「学校同行者体調記録表」は栃木県中体連バドミントン専門部のホームページからダウンロードして使用すること。なお、2日目の県南体育館に入場の際は、別紙「チェック表」を入場者全員提出する。その際、「学校同行者体調記録表」の名簿順に「チェック表」を並べて提出すること。

#### ①選手の対策

- ・トイレの後や試合後、審判を行う前などこまめな消毒をする。  
（専門部が水道やトイレ、各コート、本部等に消毒を設置）
- ・競技や準備運動などの身体活動以外の場面でのマスクの着用を義務付ける。  
熱中症予防の観点から、その限りでない場合もあるが、体育館内では常時着用する。
- ・昼食時は観客席で十分な距離を確保し、黙食する。

#### ②指導者への対策

- ・マスクの着用を徹底する。
- ・専門部で用意したアルコールを本部に常備し、こまめに消毒を行う。
- ・生徒の体調不良時や緊急時の対応のため、保護者と連絡がつく状態を常時確保しておく。（各校で保護者に事前に周知すること）

#### (2) 施設・設備面での対策

- ・試合への影響を考慮した上で、できる限り窓とドアを常時開放する。  
（換気と、ドアへの接触防止）
- ・使用する水道とトイレを指定し、手洗い場に消毒を専門部が用意し、設置する。
- ・生徒の控え場所は、3密防止に配慮した場所とする。
- ・会場使用後の消毒は教員（各校バドミントン部顧問）が行う。

- ・開場までの時間、入り口付近が密にならないようにする。  
(早く来場しすぎない できるだけ車内で待機)
- ・大会本部にはアクリル板を設置し、飛沫感染防止に努める。

### (3) 競技に係る対策

#### ①試合前について

- ・開閉会行事を行わないが、競技開始前に選手を十分に分散させた状態で競技場の注意や会場使用上の注意を伝える時間を設ける。
- ・試合開始前は互いの間隔を1m以上空けて、ネットを挟んで整列し、審判の合図で挨拶を行う。握手は行わない。

(ショートサーブスラインあたりに整列する)

- ・試合前の円陣は行わない。

#### ②試合中の対策

- ・シャトルの受け渡しの際に手を極力使わない。
- ・シャトルに顔を近づけない。
- ・シューズの裏を手で触らない
- ・他人のタオルやドリンクなどには触らない。
- ・ラリー前や得点後などハイタッチや大声を出さない。  
注意に従わない場合にはフォルトとすることがある。
- ・コートサイドには、選手が使用するカゴを設置しない。  
各自バッグを持参し、水筒やタオルを入れる。
- ・シャトル交換はコートごとにカゴを用意する(新品用、使用済み用の2つ)。  
主審はシャトルが不足したら本部に回収カゴをもってくる。

大声で叫ばない。  
自分に言い聞かせる程度。

#### ③審判について

- ・マスクを着用して審判を行う。  
(水分補給を促し、熱中症対策を講じる)
- ・主審や線審のコールは通常通り行う。
- ・審判に入る前に、コートに用意してあるアルコールで手を消毒する。
- ・主審はスコアシートを記入する際、自分の筆記用具を使用する。
- ・スコアシートは勝者が本部に持ってくる。(勝者サインは行わない)
- ・団体戦のスコアシートはすべての試合が終了したら主審が本部に持ってくる。

アルコールは各コート得点板の位置に設置する

#### ④応援について

- ・応援は、声援を不可とし、拍手のみとする。
- ・応援する際には間隔を十分にとり、密を避ける。また、手すりにはできるだけ触れないようにする。基本的に自席での応援とする。(移動しての応援は認めない)

参考：「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」  
公益財団法人 日本バドミントン協会